

リパーロ

簡易施工式
自立型オーニング

「リパーロ」はレストランやカフェ、一般家庭等において、屋外で開放的な雰囲気のもと、食事や団樂を楽しむ空間を演出する、可動タイプの日除け（オーニング）です。

日除け文化の普及、そして屋外における「癒しとコミュニティ」空間を提供することに加え、今までに無い拡張性の高さや、基礎工事と移設の容易性、そして設置場所を選ばないことをコンセプトに開発されました。

特にオーニングの固定の方式として、ウェイト機能を持たせた、移設可能な据え置き式基礎ベースを開発・採用したことは、業界初の試みであり、このことにより、屋上など従来設置できなかった場所でのオーニングの使用が可能になりました。

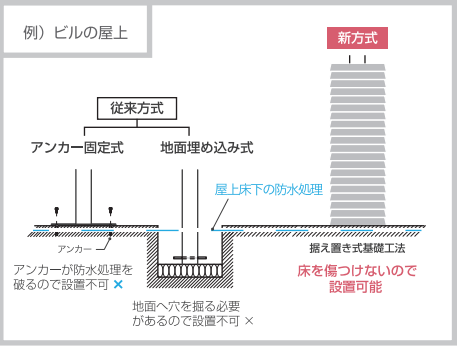
簡易な設置と移設、そして自由に連棟設置が可能な画期的オーニングの提案です。



業界初 据え置き式基礎

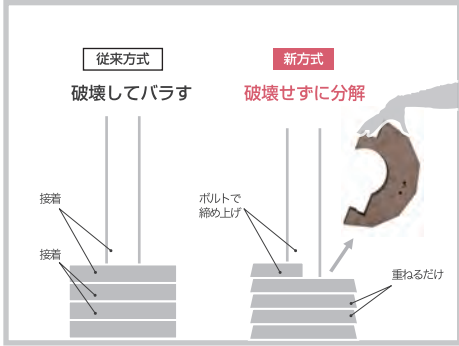
大がかりな工事の要らない、据え置き式基礎工法（ウェイトによる固定）にすることで、オーニングはさらに活躍の場を広げます。その最大のメリットは、従来設置不可能だった環境でのオーニングの利用を可能にしたこと（場所を選ばない高い汎用性）。そして、ウェイトベース部を分解可能な構造にすることで、破壊することなく容易に移設が可能になったことです（拡張性の向上）。その他、設置作業の容易性やコストの面、さらにはエコ・省エネの観点からもメリットがある、新しいオーニングのあり方です。設置環境により接着など安全の配慮が必要な場合もあります。お気軽にお問い合わせください。

【オーニングの利用シーンの拡大】



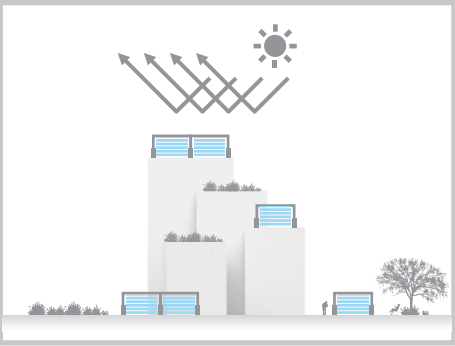
これまでは、床下に防水処理をしているビルの屋上など、固定に際し工事が必要な場所には設置できないケースがありました。据え置き式基礎工法（ウェイトでの固定法）を用いることにより、大がかりな工事の必要がなくなり、周囲環境にダメージを与えることが無くなるため、場所を選ばない設置が可能になりました。

【破壊不要の移設・製品ライフサイクルの延長】



従来の方式では、柱とベース部、そしてブロック同士が固定（接着）されていたため、移設に際してベース部を一度破壊する必要がありました。しかし、据え置き式基礎工法では、ベースウェイトを破壊せずに分解できるため、商品ライフサイクルの延長に貢献します。

【エコ・省エネ効果】



据え置き式基礎工法により、様々な場所への設置が可能になります。そのため、より大きな軒効果や屋上への太陽光の遮断効果が得られ、屋内の温度上昇を抑えることが可能になるなど、エコ・省エネ効果が期待できます。



設置の簡易性とコストを考慮し、単一モジュールの組み合わせでベースウェイト部を構成しました。コンクリート製モジュールブロック一つ当たりの重さは約 4kg。作業者がエレベーターを使用し、階上に運搬することも考慮した重量・サイジングです。



据え置き式基礎の安全性を確保するため、貫通シャフトを用い、基礎ベースブロックが崩れないようします。まずはシャフトと柱部を連結します。



ベースブロックモジュールの穴にシャフトを通しながら積み重ねていきます。



ブロックを積み終えたら、柱とブロック内壁に空いたスペースに砂を詰め込みます。その後、板金でフタをし、ボルトで締め上げて固定します。（シャフトの端部はネジ切処理）



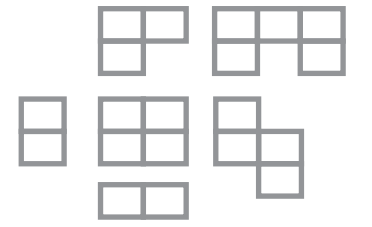
完成イメージ。組み立てと逆の手順で、分解することが可能です。※これまではブロック同士またブロックと柱を接着して固定していたため、移設の際、ウェイトを破壊する必要がありました。



ウェイトベースのコストダウンを図るため、ブロックには金型から離型しやすいよう勾配をつけ、その勾配をそのままデザインに生かしています。また、シャフトを挿す穴位置（2箇所ある）を変えることで、ブロックの重なる角度が変わり、外観の意匠に変化を与えることができます。

組み合わせ自由な連棟構造

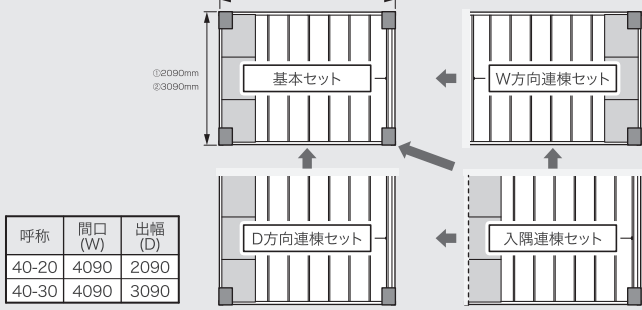
「リパーロ」は設置する敷地スペースの条件に合わせ、増設、サイズ展開ができるよう、連棟可能な構造になっています。直線を基調としたシンプルなデザインは、環境に合わせて自由に組み合わせても、外観に違和感を感じたり、景観を損ねることがありません。



【組み合わせ例】



【連棟構成】



呼称	間口 (W)	出幅 (D)
40-20	4090	2090
40-30	4090	3090